

岡田三千枝 メゾソプラノリサイタル

歌への想い

in 東京

ピアノ：ワルター・モーア
(ウィーン国立音楽大学教授)

*Mezzo Soprano
Recital*



2008年11月19日 | 水 |
津田ホール

JR：総武線=千駄ヶ谷駅前 / 地下鉄：都営大江戸線=国立競技場駅下車A4出口前

開演：午後7時 (開場：午後6時30分) 入場料：3,500円 (全席自由)

プログラム

W.A.モーツァルト	すみれ/夕べの思い/他
V.ベッリーニ	三つのアリエッタ 全曲
G.ロッシーニ	ヴェネツィアの競艇 全曲
團 伊玖磨	ひぐらし/しぐれに寄する抒情/他
山田耕筰	鐘が鳴ります/からたちの花/他

チケット取扱

二期会チケットセンター
東京文化会館チケットサービス
小田原 井上楽器
大村楽器 リベルテ
平塚 楽器店 ピアノフォルテ

(☎03-3796-1831)
(☎03-5815-5452)
(☎0465-24-0515)
(☎0465-22-7134)
(☎0463-31-2505)

ご予約・お問合せ

東京：☎03-3796-1831 (二期会チケットセンター)
小田原：☎0465-35-8284 (鈴木)

■マネジメント= 東京二期会

■後援=オーストリア大使館・(社)日本演奏連盟・(財)東京二期会



岡田三千枝プロフィール

玉川大学芸術学科を首席で卒業後、東京芸術大学音楽学部声楽科卒業。荒道子、畑中更子、金森静子、故渡邊高之助、F.ドンナー、W.モア、H.クレッチマールの各氏に師事。

東京(5回)、小田原(9回)を始めとし、遠くはウィーンまでを含めて、37回に及びリサイタルを行うと共に、日本モーツァルト協会委託の「魔笛」を始めとする多数のオペラ、及び、スロヴァキア・ポーランド・神奈川芸術祭での「第九」、「戴冠式ミサ」を始めとする多数の宗教曲、日中友好使節としての北京、上海演奏会、ウィーン国立音楽大学ホール演奏会、同日本人学校コンサート、ウィーン「グルッペ・ヴォカレ」コンサート、二期会サロンコンサート、各種ジョイントコンサート、スクールコンサート等の、国内外での出演は500回を越え、表彰を含め、好評を得ている。

現在 二期会会員

日本演奏連盟会員

ぐるーぷなべ会員

二期会ドイツ歌曲研究会会員

音楽グループ「Gruppe Vokale」主宰

音楽活動を通じて任命された

「静岡県浜松市天竜ふるさと大使」

「音楽の友」記事より

1. スロヴァキアのブラティスラヴァで、スロヴァキア共和国と日本オーストリア文化交流協会共同企画により、ベートーヴェンの「第9交響曲」が“歌声で架ける21世紀への平和の橋”のモットーのもとで、交流演奏された。

ウィーンの評論家のノートン=ウェルシュ氏は、「独唱者では、アルトの独唱が通常この作品の公演時より良く聞こえた。アルトの岡田三千枝は経験豊かで高い芸術性を持ち、他の独唱者の声とバランス良くまろやかな歌声であった」と評した。

2. 岡田三千枝のリサイタル(東京)は、ワーグナー、リスト、R. シュトラウス、そしてヴォルフの作品が並べられた。プログラムを見る限り、かなり中身の濃い内容であるが、冒頭のワーグナー「ヴェーゼンリンクの5つの歌」全曲は、あまり重くなりすぎず、柔らかな温もりと内省的な佇まいに作品への浅からぬ共感が垣間見えた。続くリストの5曲の歌曲は、どの音域でも声質のコントロールがきちっと効いていて、特に「3人のジブシー」ではその歌い回しのうまさがいい。「万霊節」等6曲の R. シュトラウスの作品はたっぷりとした歌唱。ヴォルフの「スペイン歌曲集」は性格表現、響きの豊かさ、広がり、抒情的な深みを感じさせた。とりわけ言葉に対する扱いは丁寧で、それが歌詞、対訳を付されたプログラムにも窺えた。

津田ホール

JR: 総武線=千駄ヶ谷駅前
地下鉄: 都営大江戸線=国立競技場駅下車A4出口前

